

令和7年度沖縄県国体選手の参加資格、選考方法及び組合せについて

1. 国民スポーツ大会参加資格について

- ・第78回（令和5年度）、79回大会（令和6年度）に予選を含め他県から出場していないこと
- ・令和7年4月1日時点で18歳の日本国籍の者
- ・令和7年4月30日までに住所、勤務地が沖縄県内であること

※下記の URL より、詳細を確認し自身に資格があることを確認してから申込をしてください。

<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>（日本スポーツ協会 HP 参照）

2. 国民スポーツ大会沖縄県選考会参加基準について

【成年男子】

- ・県総合シングルス ベスト8
- ・県選抜大会シングルス ベスト8
- ・協会推薦（若干名）

※令和7年度の選考会より“県社会人大会ベスト4”の基準は廃止とする。

【成年女子】

参加資格は特になし

3. 選考方法について

【男子】

1日目：シングルのトーナメント戦を行い、1位を決定。

2日目：バグナーワイルド方式にて第2代表を決定する。

第3代表は※協会推薦にて決定する。

※協会推薦について

県協会指導部で選出した1名を理事会へ推薦し、承認を得た選手とする。

【女子】

1日目：女ダブルスのトーナメント戦を行い、1位を決定（優勝ペアは翌日のシングルスに参加すること）

2日目：女子シングルのトーナメント戦を行い、前日のダブルス1位ペアの両方またはどちらかが決勝に進んだら、その時点でダブルス1位ペアは国体選手として決定。残り1名はシングルス戦の結果により決定。

① シングルスでダブルス1位が2人とも決勝進出

決勝進出者に負けた選手でシングルス戦を行い第3代表決定戦を行い、その勝者及びダブルス1位の計3人が国体選手決定。

② シングルスでダブルス1位のうち1人が決勝進出その時点でダブルス2人は決定

その後、ダブルス1位で決勝戦に進んだ選手に負けた選手と決勝進出者によるトーナメント戦を行い、その勝者とダブルス1位の3人が国体選手決定。

③ シングルスでダブルス1位の2人とも決勝に進めなかった

シングルス戦の1位、2位は決定。シングルス1位に負けた選手と2位に準決勝で負けた選手でトーナメント戦を行い、その勝者の計3人が国体選手決定。

2. 組み合わせについて

・成年男子シングルス：

県総合シングルの1位、2位をシードし、残りの参加者は当日抽選を行い、組み合わせを決定する。

※県総合シングルの1位、2位が不参加の時は、県選抜大会の1位、2位をシードとする。

・成年女子：

県総合ダブルス・シングルの1位、2位をシードし、残りの参加者は当日抽選を行い、組み合わせを決定する。県総合シングルの1位、2位が不参加の時は、県選抜大会の1位、2位をシードとする。